

第5回文化芸術・教育部会 意見交換「論点」

- 令和3年度「教育」検討テーマ
子どもたち一人一人の可能性を最大限に引き出す「新たな時代の学校」の創造
- 背景
 - ・ GIGAスクール構想による一人一台PC端末環境の実現を踏まえ、「個の学び」のみならず、「協働的な学び（集団学習）」でのICT活用による学びの複線化を図る、「新たな時代の学校」の創造が重要
 - ・ 特別支援・不登校・外国人児童生徒など、複雑化・多様化する環境にあっても「誰ひとり取り残さない」切れ目ない支援の充実も急務
 - ・ 子どもたち一人一人に、予測を超えて加速度的に進展する社会の変化にも柔軟に対応できる、「真の生きる力」の育成に向けた、不断の教育改革を進めなければならない
- 課題
 - ・ 学校・家庭でのICT機器整備（大型提示装置等）・通信環境や教師のICT活用を含めた指導力の差が、子どもたちの学びの孤立・格差につながりかねない状況
 - ・ 教職員研修の充実はもとより、働き方改革も含めた、よりきめ細かで質の高い学びを実現するための指導体制（少人数学級、専科指導等）の確保が不可欠
- 目指す方向
 - ・ 協働的な学びの場である学校が果たすべき役割（個別最適な学びとのベストミックス）を再確認し、今を学校変革の好機と捉え、学校現場での実践の積み上げ、課題・成果の共有、横展開
 - ・ オンラインを活用した授業を学びの場の一つとして確立（学びの場の多様化）
 - ・ 優秀人材の確保に向け、定数改善はもとより教職員の抜本的な処遇改善などの条件整備
- 論点
 - ・ 児童生徒の実態や学びの本質を踏まえた、学校教育での心のつながりのある学びの実現（対面（リアル）・オンラインの効果的な組合せによる学びの複線化、有用な取組のデータベース化等の取組共有）
 - ・ 学びの孤立・新たな格差を生み出さないための、学校・家庭における環境整備、教職員の指導力向上・多様な人材の活用、指導体制の確保・充実